

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 東船橋第2教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
支援の様子の細かな報告。保護者様との連携により安心感を提供できている点	お子様が「楽しかった」「また来たい！」と思えるように、一人ひとりの興味や得意なことを引き出す多様なプログラムを企画・提供しております。 そのためにも、活動の様子で気になる点があった場合は、記録として補足するか、お電話にて共有する形で対応させて頂いております。	情報の発信のみならず日々の連絡体制の中で、保護者様からのご意見や要望を受け止め、スピード感をもって支援に反映できるよう努めて参ります。
保護者様とのやり取りの中でスタッフが明るく対応している点	保護者のみなさまが、どんな些細なことでも気軽に相談できる「風通しの良い関係性」を築くことを重視しています。日々の送迎時の会話はもちろん、電話、HUGマイページなどのツールを用いて、密な情報連携を図れるよう、常日頃の対応を明るく元気に行わせて頂いております。	家族支援、子育てサポートとして参観の機会等を保護者様にご提案できるような機会も提供できればと準備しております。
保護者様へ寄り添ったサービス提供が行えている点	保護者様のご意向のもと、お子様の特性を把握し、発達段階に合わせた教材などを準備しております。 気になる点、より成長に繋がった点に関しましては、補足してご連絡させて頂くこともございます。	モニタリング時のみならず、HUG連絡をはじめとした日々の連絡体制の中で、すべてのスタッフが保護者様からのご意見や要望を受け止められる窓口になれるよう努めて参ります。

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
十分なバリアフリー環境が提供できていない点	教室の使用テナントの立地や構造上の課題から、教室への到着には階段の使用が必須となっております。	階段の昇り降りは、転落等の怪我が無いようにゆっくり歩くことの呼びかけや、職員が手をつないですぐに支えられるような対応を継続して参ります。
外部との連携／保護者への参画機会が少ない点	日々の支援を優先する中で、外部機関との情報交換や保護者の皆様にご参加いただく機会づくりが十分に行えず、連携や関わりを深める取り組みが限られてしまいました。	今後は学校や関係機関との定期的な情報共有の機会を設け、より連携の取れた支援体制を整えていきます。また、保護者の皆様にご参加いただける見学の機会なども検討し、日頃の様子や支援内容を直接お伝えする場を設けていく方針です。ご意見を支援に反映しながら、共にお子様の成長を支えていけるよう努めます。
空調設備が十分でなく、季節によって室温や湿度の管理が難しい点	建物設備の制約により空調の調整範囲が限られており、気温や湿度が大きく変化する季節には、室内環境(特に学習スペース)を常に最適な状態に保つことが難しい状況がございます。	サーキュレーターや加湿・除湿機を活用し、室内の温度や湿度を調整しておりました。 今後は空調機器の点検や設定の見直しを定期的に行って参ります。また、季節や体調に応じて衣服の調整や活動内容を工夫し、お子様が快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。